皆さまの社会貢献を実現

赤い羽根福祉基金

Community Impact Fund
Akaihane Fukushi Kikin

第1回
赤い羽根福祉基金活動報告
2016

皆さまのご支援により、平成28年8月、「赤い羽根福祉基金」がスタートしました。

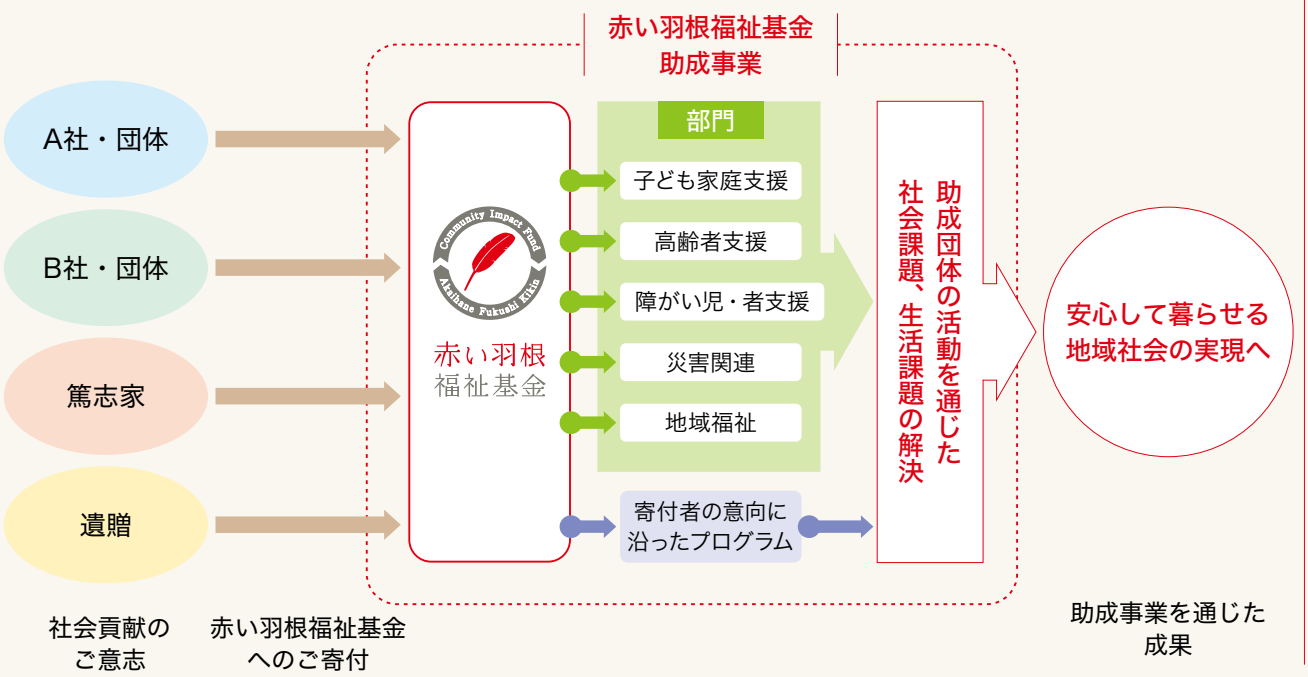
このたび、中央共同募金会は、企業や個人の皆さまからの社会貢献のご意志を集約した「赤い羽根福祉基金」をつくりました。

今、本当に地域で取り組むべき課題を明らかにしながら、全国的な波及効果のある先駆的、モデル的な取組みを集中的に支援していきます。

地域においては、少子高齢化、単身世帯の増加、過疎化など社会が大きく変化し、身近な地域での支え合う関係性が薄くなって行く中で、孤立や貧困といった状態が生まれています。そこでは、支援を必要とする人の声が伝わらず、課題が見過ごされ、深刻化してしまう状況も見られます。

初年度の28年度、赤い羽根福祉基金は、民間の社会福祉事業者・団体やNPO市民活動団体等19団体に対して、8,130万円の助成を決定しました。各団体によって、社会課題解決のための基盤やしくみづくりといった事業が始まっています。

安心して暮らせる地域社会の実現へ



基金の助成について

対象期間	▶ 単年度から最大3か年	同一事業の実施期間は単年度から最大3か年まで
助成額	▶ 年間1,000万円を上限	各事業・活動に対して年間上限額1,000万円を助成

「子ども家庭支援部門」、「高齢者支援部門」、「障がい児・者支援部門」、「災害関連部門」、「地域福祉部門」の5つの部門の活動を支援しています。

SDGsとは?➡ SDGsは、持続可能な開発目標として包括的な17の目標を設定して、民間企業、NPO等が関わり「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、統合的に取り組む目標です。赤い羽根福祉基金は、SDGsの目指す社会実現に向けた取り組みを進めています。

赤い羽根福祉基金助成事業応募の流れ

審査過程

公募開始 → 書面選考 → 審査委員会 → 運営委員会 → 助成決定 → 事業実施 → 報告

審査のポイント

ニーズ把握	・制度対象外のニーズや将来に向けて今後取り組むべき課題を的確にとらえているか
発展性	・全国的または広域的な広がりが期待される活動であるか ・新たな社会的活動・事業に発展する可能性のある社会的波及効果の高い活動・事業であるか
独自性・先駆性	・事業内容が先駆的であり、社会的課題を解決することが期待できるか
協働の効果	・複数の団体・関係機関と連携、協働することで、事業目的に照らして役割分担が適切であるか
実施者の適正性	・当該活動・事業を実施する体制が整っているか

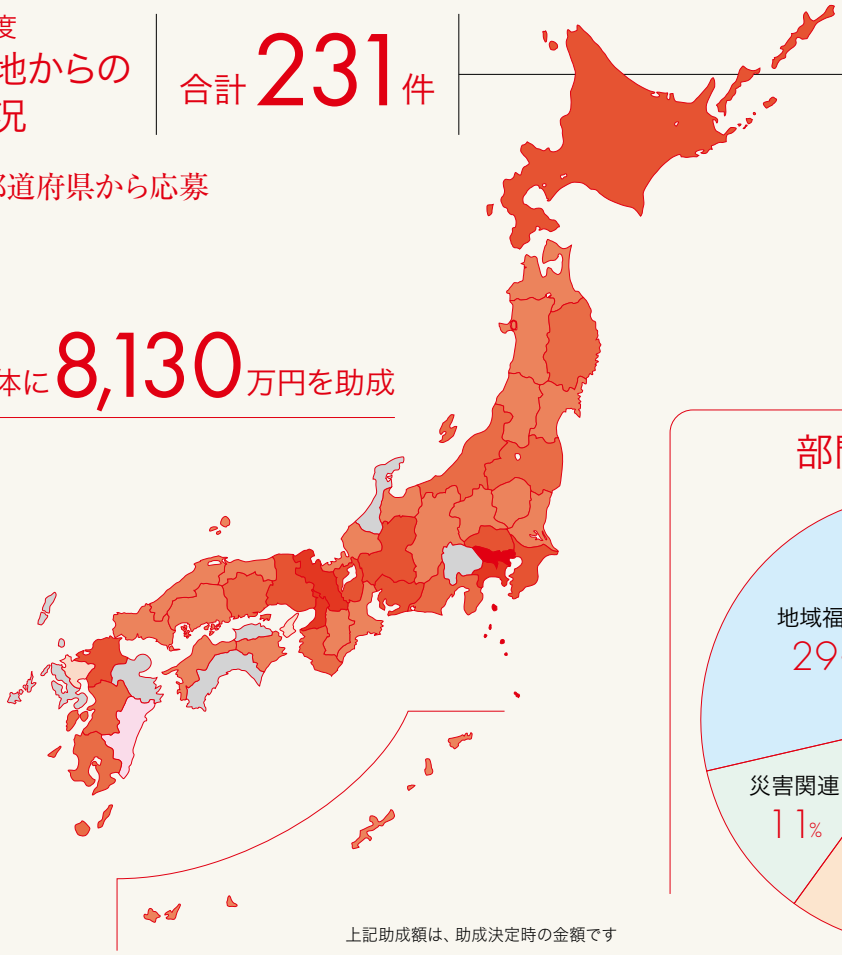
平成28年度

全国各地からの応募状況

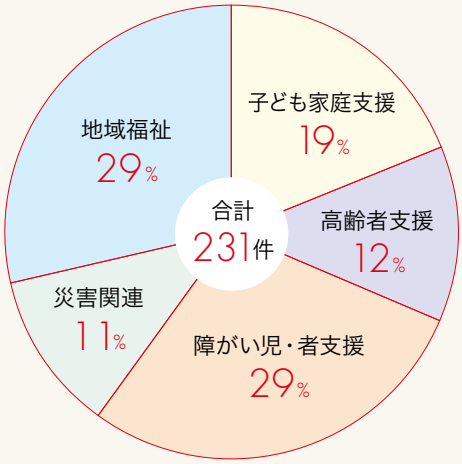
合計 231件

広く、41都道府県から応募

19団体に8,130万円を助成



部門別応募割合



上記助成額は、助成決定時の金額です

活動報告
1

子ども家庭支援

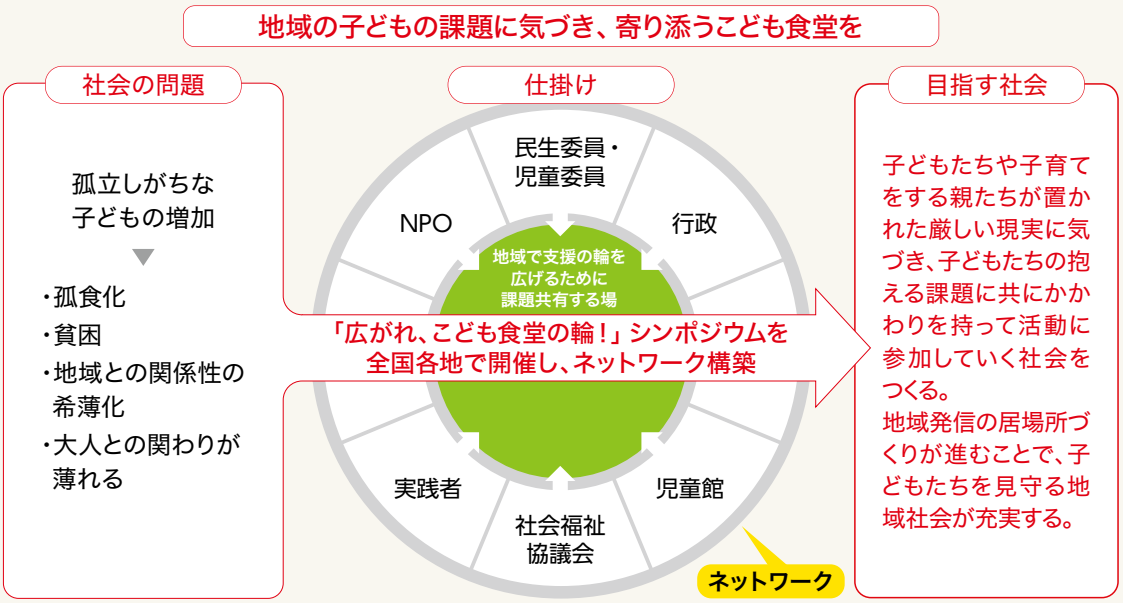
一般社団法人全国食支援活動協力会
（東京都）

広がれ、こども食堂の輪！ 全国ツアー開催支援およびネットワーク推進事業

活動目的

こども食堂の取組みが地域に定着し継続するために、地域の関係者を巻き込み、理念の普及や運営スキル向上を図るテキスト作成や、「広がれ、こども食堂の輪！」全国ツアー開催を通じた各地でのネットワークづくりが構築できるようにする。

活動概要図



活動成果（1年目）

『広がれ、こども食堂の輪！活動ガイドブック』を計35,000部作成した。地域活動を通じて子どもの問題に長く関わってきた自治会や婦人会の方々、プレイパークや学習支援に関わる方々、社会福祉協議会や民生委員・児童委員、児童福祉施設、行政関係に配布し、こども食堂に対する活動の理解者を増やすとともに、地域でのネットワークづくりに広げていくことができた。

今後のとりくみ（2年目）

こども食堂の活動のすそ野を広げるため、「全国ツアー」を実施していくこと、こども食堂をすすめるために、つながることの大切さを中心としたガイドブックを作成予定。

comment 活動者の声

だんだんワンコイン
こども食堂
近藤博子 さん

「広がれ、こども食堂の輪！」全国ツアーを応援していただいての気づき

「こども食堂」が人々のつなぎ役にもなり、信頼関係を築くことで、セーフティーネットの役割も果たせるようになりつつあります。また、ツアーでできた全国ネットワークにより、お互いの成功事例などを含めた情報交換もできるようになりました。首都圏には首都圏の、地方には地方のそれぞれの場所に合った形が必要であることにも気がつきました。「食」は、人を繋げるための大切なツールであることも改めてみなさんが感じているのではないかと思っております。

活動報告
2

地域福祉

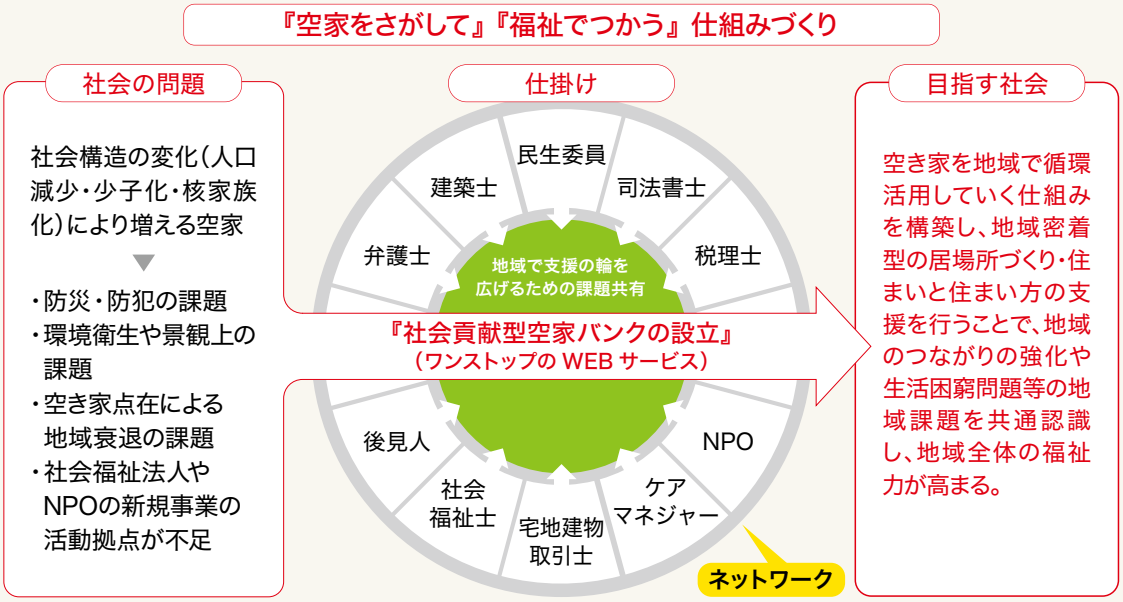
社会福祉法人福岡市社会福祉協議会・
一般社団法人古家空家調査連絡会共同事業体（福岡県）

地域の「空き家」をワンストップで福祉拠点として活用できるものにするための仕組みづくり（社会貢献型空家バンクの設立）事業

活動目的

社協の地域密着型ネットワークを活用し、地域の空家情報と空家の福祉的な活用ニーズの情報をマッチングし、必要な建築や税務・法務などの課題に対しワンストップで専門家が対応するとともに、WEBサイト上でも相談受付や空家のニーズ発信をできるようにする。

活動概要図



活動成果（1年目）

法務・税務等の専門家を交えたワンストップで対応するための課題整理の場を設けた。福岡市内の1小学校区（美和台校区）をモデル地区に選定し、自治協議会会長や校区社協会長、公民館長等へ空家情報の提供や活用者の募集を行い、活用の相談をワンストップで専門家が対応できるようWEBサイト構築を行うことができた。

今後のとりくみ（2年目）

空家活用のマッチングをWEBサイトで行いながら、専門家による個別ケースの検討を重ねることを進め、空家活用に携わる多様な担い手を確保するためのつながり作りを進める。

comment 活動者の声

江島・猪之鼻司法書士事務所
司法書士
猪之鼻　久美子 さん

社会貢献型空家バンク設立に参画したことで専門家の力を活かせることの気づき

私は、「社会貢献型空家バンク」設立に、司法書士という専門家として関わってきました。空き家等対策は、法律、税務、建築等の専門家の連携が必要です。今回は、空き家の福祉活動拠点への活用を横断的に協議することで、地域社会が担う福祉の知識が深まり、私自身、地域社会への専門家の積極的な関与という新たな視点を持つことができました。

社会課題の解決に取り組む団体一覧

子ども家庭支援部門
活動の基盤づくり・ネットワークづくり

一般社団法人
全国食支援活動協力会

事業名
広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー開催支援およびネットワーク推進事業

助成決定額 H28 870万円 H29 950万円

子ども家庭支援部門
活動の基盤づくり・ネットワークづくり

公益財団法人
あすのば

事業名
全国で子どもの貧困対策に取り組む支援者の「レベルアップ研修会」開催事業

助成決定額 H28 270万円 H29 430万円

子ども家庭支援部門
調査・研究事業

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

事業名
社会的養護施設等退所児童等支援におけるネットワーク構築モデル事業

助成決定額 H28 540万円 H29 860万円

災害関連部門
支援事業・活動

一般社団法人
福祉防災コミュニティ協会

事業名
福祉施設・福祉人材のための、災害対応力向上と魅力増進のための研修および指導者・推進者養成事業

助成決定額 H28 210万円 H29 415万円

災害関連部門
活動の基盤づくり・ネットワークづくり

特定非営利活動法人
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

事業名
災害時課題解決のための担い手育成及び支援者間の連絡調整のための基礎づくり事業

助成決定額 H28 250万円 H29 615万円

あすのば「第１回子どもの貧困対策レベルアップ研修会」にて
全国の支援者がノウハウを共有するためのワークショップの様子

災害関連部門
調査・研究事業

東日本大震災支援全国ネットワーク

事業名
大規模災害における全国域の中間支援機能等を検討するための検証事業

助成決定額 H28 120万円 H29 317万円

地域福祉部門
支援事業・活動

特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター

事業名
自然な支え合いの発見と意識化をとおして住民主体の地域づくりを広げる事業

助成決定額 H28 300万円 H29 530万円

地域福祉部門
支援事業・活動

特定非営利活動法人日本NPOセンター／特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター
（共同提案）

事業名
地域福祉の充実のための地域のNPO支援センター（中間支援組織）と地域福祉関連領域との連携創出支援事業

助成決定額 H28 450万円 H29 940万円

地域福祉部門
支援事業・活動

社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会

事業名
「いがぐりプロジェクト」伊賀栗のブランド化による若年無業者・生活困窮者・障がい者等の中間的就労支援事業

助成決定額 H28 280万円 H29 738万円

地域福祉部門
活動の基盤づくり・ネットワークづくり

「広がれボランティアの輪」連絡会議

事業名
ボランティア・市民活動の相互研鑽のための大会事業

助成決定額 H28 500万円 H29 602万円

日本NPOセンター／ふくおかNPOセンター地域福祉分野との連携創出に向けたアドバイザー会議風景

地域福祉部門
活動の基盤づくり・ネットワークづくり

特定非営利活動法人
KHJ全国ひきこもり家族会連合会

事業名
ひきこもり当事者の社会参加と地域福祉の推進のための対話交流会の全国展開事業

助成決定額 H28 200万円 H29 754万円

地域福祉部門
活動の基盤づくり・ネットワークづくり

一般社団法人
生活困窮者自立支援全国ネットワーク

事業名
生活困窮者自立支援に携わる人のための全国研究交流大会を開催する事業

助成決定額 H28 750万円 H29 850万円

地域福祉部門
活動の基盤づくり・ネットワークづくり

社会福祉法人
文京区社会福祉協議会

事業名
住民主体のプロジェクトチームにより地域課題解決を行う仕組みづくりとしてのプラットフォーム構築事業

助成決定額 H28 300万円 H29 370万円

地域福祉部門
活動の基盤づくり・ネットワークづくり

特定非営利活動法人
三重ローカルアクト

事業名
社会的排除から生きづらさを抱えた人が、自分らしさと生活を取り戻せる事業

助成決定額 H28 450万円 H29 633万円

地域福祉部門
活動の基盤づくり・ネットワークづくり

社会福祉法人
高島市社会福祉協議会

事業名
地域生活支援のための住民と協働した多職種連携と地域共同ケア拠点形成事業

助成決定額 H28 900万円 H29 630万円

高島まるごとキャラバン隊がキッチンカーを活用して
地域に出向いた移動相談拠点を開設の様子

地域福祉部門
活動の基盤づくり・ネットワークづくり

特定非営利活動法人
おかやま入居支援センター

事業名
住宅確保要配慮者の住居確保のための支援活動を継続し全国展開する事業

助成決定額 H28 400万円 H29 950万円

地域福祉部門
活動の基盤づくり・ネットワークづくり

社会福祉法人福岡市社会福祉協議会／一般社団法人古家空家調査連絡会共同事業体

事業名
地域の「空き家」をワンストップで福祉拠点として活用できるものにするための仕組みづくり（社会貢献型空家バンクの設立）事業

助成決定額 H28 800万円 H29 900万円

地域福祉部門
調査・研究事業

一般社団法人
日本ソーシャルワーク教育学校連盟

事業名
地域共生社会の創造に向けたコミュニティソーシャルワーカー養成研修の基盤構築事業

助成決定額 H28 330万円 H29 540万円

地域福祉部門
活動の基盤づくり・ネットワークづくり

特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会

事業名
地域課題解決への市民参加を進めるための全国コーディネーター研究集会事業

助成決定額 H28 210万円

第1回助成授与式にて助成団体の皆さま

私たちは赤い羽根福祉基金に期待をしています。

赤い羽根福祉基金 運営委員

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
代表取締役会長
中央共同募金会　理事

二宮 雅也

私は、経団連企業行動・CSR委員会をはじめ、様々な観点からCSRの推進に従事しています。

2016年に設置された、安倍晋三内閣総理大臣を本部長とするSDGs推進本部傘下の円卓会議に参加する中で、持続可能な社会を実現するためには、国民一丸となって取組む姿勢と、企業の事業を通じたイノベーティブな社会的課題の解決が重要であると考えています。

本基金の助成先として決定した皆様の活動は、SDGsをはじめ社会的課題を解決する国民の取組みを後押しするとともに、企業のイノベーションを刺激する重要な取組みです。

助成先の皆様の活動が、身近な社会的課題を解決し、さらには地球規模の課題の解決に繋がることを期待しています。

赤い羽根福祉基金 運営委員

ANAホールディングス　コーポレートブランド・CSR推進部　グローバルCSRヘッド
経団連社会貢献担当者懇談会　座長

金田 晃一

企業の間では、「『製品・サービス』を通じた『社会課題』の解決」に注目が集まっています。他方、孤立や虐待など一人ひとりが異なる形で抱えている日々の「生活課題」については、解決に向けたインパクトのある関わり方をイメージできてはいません。

赤い羽根福祉基金であれば、この状況を変えられるかもしれません。「社会課題」に関心のある企業に「生活課題」を熟知している中間支援組織を引き合わせる仕組みがあるためです。

基金に期待することは、活動を通じて創出した社会的インパクトの計測と評価です。計測と評価は、活動の意義を伝え企業の寄付活動に戦略性を持たせます。そうなれば、「『戦略的寄付』を通じた『生活課題』の解決」という新しい社会参画のあり方にも注目が集まることでしょう。

赤い羽根福祉基金 運営委員会　委員名簿

委員長	斎藤 十朗	社会福祉法人中央共同募金会　会長
委員長代理	上野谷 加代子	同志社大学大学院　社会学研究科　教授
委員	小川 陽一郎	デロイトトーマツグループ　CEO
委員	金田 晃一	ANAホールディングス　コーポレートブランド・CSR推進部　グローバルCSRヘッド 経団連社会貢献担当者懇談会　座長
委員	川邊 健太郎	ヤフー株式会社　副社長最高執行責任者 ヤフー基金理事
委員	渋谷 篤男	社会福祉法人全国社会福祉協議会　常務理事 社会福祉法人中央共同募金会　理事
委員	二宮 雅也	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 代表取締役会長 社会福祉法人中央共同募金会　理事

赤い羽根福祉基金 審査委員会　委員名簿

委員長	和田 敏明	ルーテル学院大学　名誉教授
副委員長	永井 美佳	社会福祉法人大阪ボランティア協会 事務局長
委員	天野 珠路	鶴見大学　短期大学部保育科 教授
委員	石井 淳子	前 厚生労働省　社会・援護局長
委員	諏訪 徹	日本大学　教授

敬称略
役職は平成29年4月1日現在

平成28年度赤い羽根福祉基金活動収支報告

収入額		511,907,718円
（内訳）	平成27年度までの寄付金収入	323,000,000円
	平成28年度寄付金収入	188,875,445円
	利 息 収 入	32,273円
支出額		84,275,532円
（内訳）	助成金支出	76,965,532円
	事業費支出	5,557,887円
	事務費支出	1,752,113円
基金残額		427,632,186円

これまでにご寄付をいただいた企業・団体・個人の皆さま

企業のご寄付

株式会社福祉保険サービス
株式会社カインズサービス
株式会社エス・エス・ジー
パラマウントベッド株式会社

個人のご寄付（遺贈）

故 押見　和子 様　　故 古田　春男 様
故 森田　澄子 様　　故 滝澤　三千代 様

社員募金 + 企業のご寄付

アジレント・テクノロジー株式会社
ピツニーボウズジャパン株式会社

※順不同、公開を希望されない企業・団体、個人の皆さまについては、お名前の掲載を控えさせていただきました。

多様なご協力のかたち

Yahoo! ネット募金を通じて、チャリティオークションの収益やTポイントによるご寄付、アサヒ飲料（株）との協働による「ひなまつりに笑顔でカンパイ！募金」の実施などを通じてご協力をいただきました。
（ヤフー株式会社）

社会貢献担当者懇談会にて、企業の社会貢献担当者に、赤い羽根福祉基金の取り組みをご紹介する場を設けて、ご寄付のご協力を呼びかけるための機会を提供いただきました。
（一般社団法人日本経済団体連合会）

『月報司法書士』2017年2月号に基金事業内容の記事掲載を通じて、遺贈先としてご紹介いただきました。
（日本司法書士会連合会）

赤い羽根福祉基金への
ご寄付のお願い

皆さまの社会貢献が、
地域課題、社会課題を解決します。

企業・団体や個人の皆さまからの
ご寄付により運営しています

赤い羽根福祉基金に、多くの皆さまのご支援・ご協力を
いただきますようお願い申しあげます。

赤い羽根福祉基金
ご寄付先口座

みずほ銀行　虎ノ門支店
普通預金　4059202
口 座 名　社会福祉法人中央共同募金会
赤い羽根福祉基金

三井住友銀行　東京公務部
普通預金　0162563
口 座 名　社会福祉法人中央共同募金会
赤い羽根福祉基金

三菱東京UFJ銀行　東京公務部
普通預金　0075407
口 座 名　社会福祉法人中央共同募金会
赤い羽根福祉基金

共同募金を通じたご寄付には、
税制上の優遇措置があります

赤い羽根福祉基金へのご寄付は、
社会福祉法人（特定公益増進法人）として受け入れる寄付金として、
寄付金の特別損金算入が認められます。

・法人税の 特別損金算入 、所得税の 寄付金控除
あるいは 寄附金税額控除 が受けられます。

・個人財産の寄付の際の 相続税の非課税 、みなし譲渡課税の
非課税措置 があります。

赤い羽根福祉基金に対するご寄付には、感謝状を贈呈いたします。
また、共同募金会は、数少ない褒章制度の対象団体です。

（贈呈・褒章には基準があります）

お問い合わせ先
社会福祉法人中央共同募金会
基金事業部

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル 5F
TEL. 03-3581-3846　FAX. 03-3581-5755
E-mai: kikin@c.akaihane.or.jp
URL: http://www.akaihane.or.jp/